

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
芸術	美術 I	1	2	選択必修

到達目標	中学校美術の学習で養われた創造的な表現と、鑑賞の能力をさらに伸ばし、美的直観力、発想力、構成力を育てる。
------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対しての アドバイスなど	備考
1 学期 中間	高校美術、学習内容と評価について 描画材料の特性と使い方について 課題 1 ; 模写 教科書の中から、好きな作品を一つ選び、模写する。選んだ理由も述べる。	高校では、使用する道具と材料を全て各自で購入することになっています。	
1 学期 期末	溝引きの演習 線遠近法について (透視図法の演習) 課題 2 ; 文字と背景のデザイン画 好きな言葉や自分の名前などの文字を、線遠近法により立体的にレタリングし、文字に合う背景も意匠構成する。	アイデアスケッチをしっかりと行い、案をよく練りましょう。 作品に至る過程が大切です。	
2 学期 中間	展覧会の鑑賞 (レポート提出) 授業作品の鑑賞 課題 3 ; スクラッチボード 黒く塗ったアクリル板をスクラッチ (削る) することで、図案を表す。裏面から彩色し仕上げる。	本や写真ではなく実際の作品を鑑賞し、感想を書きましょう。 スクラッチペンで削り描きます。	
2 学期 期末	課題 3 の仕上げ 課題 4 ; 拡大模写 人物のハガキ大程度の顔写真を 2 倍～3 倍程度に拡大し模写する。単色または 2 色に色数を絞って、アクリルガッシュで彩色表現する	課題 4 で使う、ハガキ大の「顔の写真」を、早めに探しておきましょう。	
学 年 末	課題 4 の仕上げ 課題 5 ; デッサン 身近な物を鉛筆で描写する。 鑑賞 学習のまとめ	いわゆる写実とは何か、仕組みをわかりやすく解析します。	

評価方法と 評価のポイント	取り組み状況 (出席状況、授業態度) と、提出作品による評価。 ポイントは、発想力・態度・表現の工夫です。意欲的な態度を期待します。
------------------	---

教科からのアドバイス

今後の日常生活のあらゆる場面で役立つ内容です。「描く」課題と「作る」課題を、実施します。
課題内容は固定ではなく、進度や状況に応じて変更する場合があります。